

# 家族防災会議・非常持ち出し品

## ■ 家族防災会議を開いてみましょう

災害が起きてしまったから出来ることは限られてしまいます。大切なのは、普段から災害への備えを行い、いつ災害が発生しても被害を最小限にするための取り組みを行うことです。

### 家族みんなで防災会議

#### ① 家族一人ひとりの役割分担

日常の防災の役割と災害時(地震・台風等の水害)の役割の両方を決め、順序立てて整理し、紙に書いて貼っておきましょう。



#### ② 家屋の危険箇所チェック

家の内外をチェックして危険箇所を確認し、必要であれば修理や補修を行いましょう。



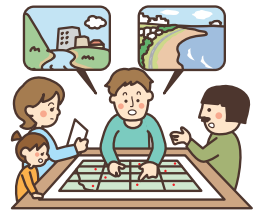
#### ③ 非常持ち出し品のチェックと入れ替え

必要な品がそろっているかチェックしましょう。新しいものとの取り替えも忘れずに行いましょう。



#### ④ 災害時の連絡方法や避難場所の確認

家族が離ればなれになった時の連絡方法や、避難所を確認しておきましょう。下見しておくのも良いでしょう。



## ■ 防災アイテムをそろえましょう

避難時に持っていくもの、水や食料など備蓄するもの、その他役立つものを考えてみましょう。

### 非常持ち出し品



リュックサックに!

① 通帳



② 現金



③ 免許証などのコピー



④ 非常食



⑤ 水



⑥ 衣類・タオル



⑦ 持病薬等の救急用品



⑧ マスクなど衛生用品



⑨ ラジオ・懐中電灯



⑩ 防災マップ



### 非常備蓄品

救援活動が受けられるまで自活するための備蓄品です。家族が3日間、出来れば7日間程度過ごすために必要な量が目安です。この分量を確保するために、ローリングストック法等により、ストックが可能な食料及び生活必需品を備蓄し、日常生活の中で継続して備蓄できるように努めましょう。

※ローリングストック法…日常的に非常食を食べて、食べたらずいという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食を備蓄する方法

